

新しい (NEW) 理想郷 (UTOPIA)

NEW TOPIA

N. 140

2024 7.15

岸和田市国際親善協会だより **にゅとぴあ岸和田**
INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION OF KISHIWADA

ifa-きしわだ 総会

2023-2024

SSF 高校生の岸和田体験記

～ 開催報告 ～

岸和田ブックフェスタ2024

【特集】フォトサロン

SSF 高校生のホームビジット

連載

English Open Café

キルギス コロンビア バングラデシュ ガーナ

連載

世界の民族衣装

パレスチナ編

にほんご きしわだじょう なつ
やさしい日本語 「岸和田城の夏」



Since 1989

ifa-きしわだ
岸和田市国際親善協会

【岸和田城の夏】

表紙デザイン Shinako Abue

「にゅとぴあ岸和田」は世界の人びと、団体、都市との出会いを求め、ふれあいを大切にした親善・交流を通して互いの連帯を深め、世界の平和と繁栄、人びとの幸福の増進のための貢献を目的とした、岸和田市国際親善協会の活動記録とメッセージの発行物です。





総会・経過報告

2024年度の事業指針を決定する総会が、5月11日(土) 自泉会館で開催されました。

総会は井上實会長挨拶及び岸勝志副市長等ご来賓祝辞に引き続き、事務局、広報部会、事業部会、日本語サロン部会より2023年度事業報告、並びに同年度決算・監査報告があり、原案通り承認されました。引き続き2024年度の事業計画案・予算案についても満場一致で承認されました。

続いて補欠役員の選出があり、監査役に樽谷弘子氏が満場一致で選出されました。

また、当協会が主催する外国人のための日本語サロンにおいて、10年間に亘り支援にあたられ、多大の尽力をされた功績により、河畑幸子さんに感謝状と記念品が贈られました。(広報部会)

ご挨拶

会長 井上 實

風が薫る本日、岸和田市国際親善協会の総会を開催しましたところ岸和田市岸勝志副市長はじめ来賓の方々と会員の皆さまのご出席のもとここに開催できました。お礼申し上げます。

さて、今年度本協会は行政、会員、市民の方々のご理解とご協力を得て、創設35周年をむかえることができました。重ねてお礼申し上げる次第です。

今年度の主な事業としては

1. 広報誌「にゅ〜とぴあ岸和田」は年4回の定期発行をします。表紙のデザインを一新し、会員への郵送からメール送信への移行の試みを検討しています。
2. 日本語サロンは市内5か所で開設します。世界20か国約100名が登録され、会員ボランティアと一緒に日本語を学んでいます。
3. イングリッシュ・オープン・カフェは日本で学ぶ各国の外交官や地域の AETなどを講師に迎え、英語を中心に自国と日本の文化等を語ってもらいます。会員のみならず一般市民の方にも呼びかけ公開します。
4. 外国人のためのだんじりインフォメーションセンターを開設します。13か国語のだんじりマップを用意し、多くの国からの訪問客への情報発信に努めます。
5. 増加する岸和田市立の小中学校に在籍する海外にルーツを持つ日本語の理解が難しい児童生徒への日本語指導補助員の派遣をします。
6. 岸和田市が都市間交流を始める予定であるヨーロッパ・フランスに関する講座を計画します。



井上会長の挨拶

これからも岸和田市と地域の国際化の進展に貢献してまいりたいと思います。

と・ど・け♥みんなの心

能登半島地震義援金

1月16日～5月11日の間、理事会・総会・日本語サロン・クラブ・EOC 等で募った義援金18,300円を、岸和田市を通して日本赤十字社へ届けました。ご協力ありがとうございました。



第2部 お楽しみコンサート♪

総会

2023-2024

2部は昨年の「岸和田市市制施行100周年記念事業」をまとめた映像の鑑賞から始まります。

映像の中で、当協会が協賛事業としてとりあげた「やさしい日本語を使いましょう」の冊子を実際を使って外国の方々とおしゃべりする集いが取り上げられました。テレビ岸和田が取材した番組が画面に映され、会場の中には自分の姿を見て「おーっ」と歓声を上げる人も。

いよいよ総会2部のメインイベント、雪本直子さんによる「二胡のひととき」。蘇州夜曲などシルクロードを思い浮かべさせる二胡の調べに心が和みます。



雪本直子さんによる「二胡のひととき」



1部の厳粛な総会、2部の二胡の演奏また会場には KIMONO クラブの方が和装で参加、国際親善協会ならではの総会となりました。

やさしい日本語を使いましょう。

きしわ だじょう なつ
岸和田城の夏

きしわ だじょう てんしゅかく おお ほり
岸和田 城 天守閣の まわりに 大きな 掘があります。

さぎ さかな
サギや たくさんの 魚が すんでいます。

なつ ほり ほーと の
むかし 夏になると 掘で ボートに 乗ることが できました。

ほーと み てんしゅかく
ボートから 見る 天守閣は

とても きれいでした。



当時、お堀にかかる千亀利橋の
たもとでボートを楽しむ様子

「やさしい日本語を使いましょう」冊子

日本語の用例を生活シーンに分けて
わかりやすく掲載した冊子です。
★希望者は事務局にて手渡しましたは、
HPから無料ダウンロード頂けます。





ベギさん (Keneshbekova Begimai)

キルギス

3.16(土)

中央アジアの天山山脈の国キルギス。国旗には赤い円と交差する線が描かれていますが、これはキルギスの遊牧民の伝統的な住居であるユルト(yurt)の天窓を表しています。ユルトは、遊牧生活において非常に重要であり、厳しい自然環境での生活を支える要素でした。天窓からは、太陽や月や星などの美しい自然が眺められます。ユルトの中で出産した母の腕の中



ユルト(yurt)と天窓

にいる赤ちゃんが最初に見るのは天窓を通したキルギスの自然です。なんとロマンチックな話でしょう。



民族衣装のベギさん

赤い円は、太陽や生命力を表し、キルギスの自然環境における生存の象徴です。また、交差する線は、キルギスの民族の結束と団結を示しています。太陽の光は40本あり、40は部族の数を表しています。

ベギさんの説明からは、この国旗が持つ深い意味と、キルギスの人々が自らのアイデンティティと歴史を尊重していることが伝わってきました。彼女の生き生きとした語り口からは、自らの文化に誇りを持ち、他者と共有する喜びが感じられました。

国旗に込められた意味を通じて、キルギスの人々の生活や信念に触れることができ、異文化理解を促すきっかけとなりました。(岩木日出世)



フェルナンドさん (Suarez Sanchez Fernando)

コロンビア

4.20(土)

ゲストはコロンビア外交官のフェルナンドさんです。関西国際センターで日本語研修を受けておられます。松尾芭蕉の奥の細道を愛読されていて漢字の勉強もされています。

母語のスペイン語以外に英語、フランス語、ドイツ語、日本語の言語を習得され、コロンビアの歴史・文化を英語で説明されました。時折流暢な日本語も出て場が和んでおりました。

国名はコロンブスの名前が由来です。コロンビアの国土は日本の約4倍ですが、実際に人が多く住んでいる地域は、アンデス山脈一帯の標高3000



アヒアコ料理

メートルの高地で、その面積はほぼ日本と同じです。

じゃがいもの生産地で、アヒアコと言う美



味しそうなじゃがいものスープ料理がとても気になりました。

今回参加された方の娘さんが描いてくれたフェルナンドさんの似顔絵のサプライズがありました。

(一ノ瀬健治)



シラムさん (RAHMAN Siam) バングラデシュ

ペニーさん (NYAMIKEH NDAH Kpanyi) ガーナ



ペニーさん (左) シラムさん (右)



バングラデシュとガーナ、2つの国と日本の関係は何か？と問われたら皆さんはなんと答えますか。その前に世界地図で正しく場所を指せるでしょうか。

ゲストスピーカーは両国の若い外交官のお二人。ほとんど日本語が話せない中で8ヶ月前に来日、しかし当日は流暢な日本語も交えながら、それぞれの国の説明をしてくれました。

恥ずかしながら、知らなかったことの一つは人口。バングラデシュの人口は、日本より多いのです。バングラデシュ1億7400万人、日本1億2200万人(2024年)なのに面積は日本の約4割程度で人口密度の高い国です。次は国旗の意味、日本とバングラデシュの国旗はデザインがほぼ同じですが、緑色は木々が生き茂る緑多い自然を、赤い円はこれから上りゆく太陽を、そして赤色は独立戦争で流されたベンガル人の血を意味するのです。

両国に共通の話題は、少し悲しい歴史です。バングラデシュはパキスタンから、ガーナはイギリスから独立しましたが多くの犠牲が伴いました。

ガーナの国旗の赤色も独立のために流された血を表しています。

バングラデシュの産業の一つはアパレルです。

この日の二人が着ていたシャツはどちらもメイドインバングラデシュ。

ガーナで知っていることはやはりチョコレート、ペニーさんが

「ガーナの本物のガーナチョコレートです」と日本語で紹介したときは会場が爆笑の渦に。そして、ガーナの人にとっていちばん有名な日本人は野口英世博士です。黄熱病の研究中にガーナで死去、首都のアクラには野口英世を記念した銅象があります。

バングラデシュ、ガーナ、そして日本、肌の色も、言語も、宗教も、歴史も

異なりますが、皆地球家族。優しい人間であり続けたいですね。

(内田満弥)



ガーナのガーナチョコレート



バングラデシュの子どもたち

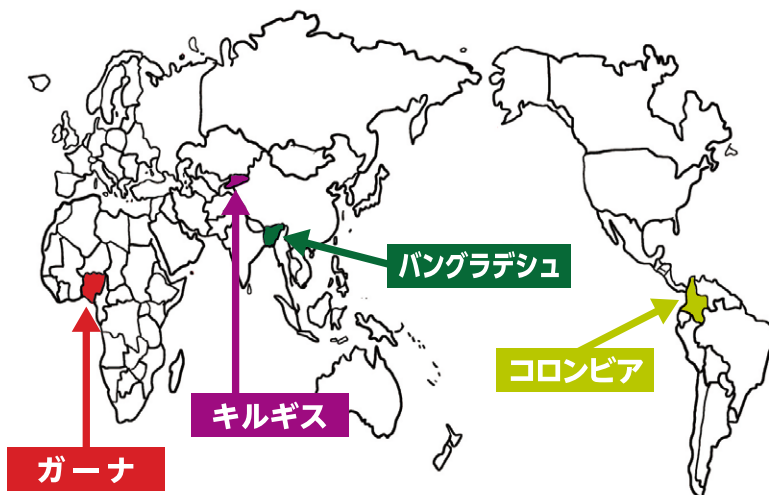


野口英世博士

English Open Café

世界の旅

今回登壇くださった皆さんの出身国をご紹介します。EOCがいかにワールドワイドかご理解いただけるかと思えます。



SSF 高校生の岸和田体験

2024年6月11日から17日まで姉妹都市のサウスサンフランシスコ市の高校生15名が岸和田市を訪れました。岸和田市の家庭でホームステイし日本の生活を体験、一緒に食事して、それぞれのホストファミリーとの国際親善を経験しました。

公式行事としては岸和田市長への表敬訪問や浴衣を着て岸城神社参拝、岸和田城等を散策。岸和田市消防本部で消防服を着るなどの貴重な体験をしました。



市長表敬



市長とハイタッチ!

気になる同年代の学校訪問!



岸和田市立産業高等学校

高校生同士の交流として、岸和田産業高校を訪問。

最初に学生食堂で昼食、日替わり定食やうどん定食に満足!その後、産業高校の生徒と一緒に自己紹介やゲームタイム。

産高生も普段の英語の授業とは違い、生の英語に「なんて言うたらええん、先生!」と助けを求めながらも、そこは若者同士。楽しくコミュニケーションしています。

最後はクラブ活動に参加。弓道と茶道、華道クラブの体験。特に弓道は袴を履いて、実際に



日本の学食、ウマア〜!!

プログラムで岸和田にホームステイした学生もいて、この国際交流プログラムの歴史を実感しました。(広報部 内田満弥)



サプライズで道着に着替えて弓道の実演! 同年代の部員から真剣に学ぶ姿勢はまさに武士!!



さすが同世代、とにかく盛り上がる!

矢を射る日本人でもなかなかできない貴重な体験も。

今回の生徒の中には、お母さんが20数年前にこの

開催報告

岸和田ブックフェスタ 2024・春

多言語絵本おはなし会 ~絵本でつながるみんなの世界~

5月18日に岸和田市立図書館本館にて、昨春秋に引き続き、多言語絵本をテーマとしたイベントを開催しました。今回は『はらぺこあおむし』の大型絵本の英語での読み聞かせ、そして英語や中国語などの多言語絵本の紹介や家庭での読み聞かせに関するお話を、日本語での解説を交えながら行いました。こどもたちが慣れ親しんだ絵本を通して自然と聞いたままの外国語を口にする様子も見られ、絵本を通して世界が広がっている様子が実感できました。前回のイベントが

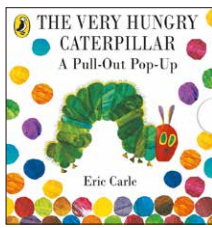
らのつながりで今回も海外ルーツのママさんたちに絵本を読んでもらい、私自身このイベントを通じて人とのつながりが広がって

英語の絵本って楽しいね!



ながりが広がって、大変うれしく思っています。

今後も海外ルーツの親子、海外の文化や言語に興味のある親子や大人も一緒に楽しめるようなイベントを、「めるくゆるく」続けていけたらと思います。(茶木 花菜)



『はらぺこあおむし』英語絵本

SSF 高校生の岸和田体験



消防署では隊員に!



サウスサンフランシスコ市の高校生たちが体験したエピソードをフォトアルバムでお届けします。



みんなで願いを書いた「七たかざり」



岸和田城の天守閣にも行きました



浴衣で岸城神社参拝

世界の民族衣装

パレスチナ編



パレスチナの伝統刺繍

(يدي لقت لا زيرطت لا)

語学研修で来日したディナさんがお召しになっていたのは母国パレスチナの伝統刺繍が施された美しい民族衣装です。パレスチナ伝統刺繍とは、襟から胸、袖、裾にひと針、ひと針、クロスステッチで模様をびっしり埋め尽くす、たいへん手の込んだ刺繍です。伝統的な模様には花や木、星や月など自然界の身近なモチーフからデザインされたものが多いそうです。黒いドレスに真紅の刺繍が、華やかな雰囲気ディナさんによくお似合いました。



パレスチナ伝統刺繍は1948年の第一次中東戦争から現代に至るまで、度重なる戦禍のなか、女性たちの身を助けてきたのだそうです。住んでいる家を追われたときは、衣装を小さくカットして食糧と交換し、国旗を掲げることを許されなかったときは自らの衣装にパレスチナ国旗を刺繍したとのこと。パレスチナ刺繍はパレスチナ人の文化的アイデンティティの象徴であると同時に、ガザ・ヨルダン川西岸地区と周辺国に逃れたパレスチナ難民・農民女性が収入を得る手段にもなっています。

実は日本の着物愛好家のなかでも、美しく端正なパレスチナ伝統刺繍がびっしりと施された名古屋帯は憧れであり、垂涎的になっています。戦争が終わり、刺繍の担い手の難民女性が日常に戻ったときに、彼女たちの生活を支えるための先行支援として帯を事前オーダーする「パレスチナ刺繍帯プロジェクト」も日本国内で立ち上がっています。



深紅の伝統刺繍

(新矢由紀)



『SSF高校生 ホームステイ』フォトサロン特集!

SSF(サウス・サンフランシスコ)市からの交換留学生を受け入れてくださったホームステイファミリーとの楽しいひと時を写真でレポートします!!



流しそうめんにびっくり!

着替えも
お手伝い



花火を
買いまーす



一緒に
バリエ



背が高いから
植木剪定の手伝い



家族揃ってゲーム大会



近所の人達も
みんな集まって



どっちが強いかな



初めての
雨戸締め



食器洗いのお手伝い



庭のブルーベリー収穫



ひらがなの
勉強デス



お好み焼きに
チャレンジ!



たこ焼きパーティ♡



水やりのお手伝い



すき焼きだよ〜^^

Informations

■「外国人のためのだんじりインフォメーションセンター」スタッフ募集

【日時】9月14日(土)・15日(日) 10:00~16:00
【場所】岸和田市シルバー人材センター(南海岸和田駅高架下)
*スタッフは会員のみ。事務局へお申込みください。

■English Open Café

各国からゲストをお招きし、英語でプレゼンをしていただき交流を図ります。
【日時】9月以外の第3土曜日 13:30~15:30
【場所】マドカホール 3F 視聴覚室
【費用】無料 *事務局へお申込みください。 先着 30 名まで受付します

■多文化共生講座「あなたの家で国際交流」

【日時】8月24日(土) 13:30~15:30
【場所】マドカホール 3F 視聴覚室 【費用】無料
*詳しくは、チラシをご覧ください

■年会費納入

今年度の事業推進に際し年会費を納入いただきますよう、
よろしくお願いたします。
納入方法は下記のいずれかの方法にてお願いします。
① 直接、事務局(岸和田市立文化会館(マドカホール)内)で納入
② 口座振込み ※事務局だよりをご覧ください